

(トップページ:<http://mylibrary.maeda1.jp/>)

(五大石油会社の業績比較:<http://mylibrary.maeda1.jp/SuperMajors.html>)

(ブログ「石油と中東」:https://blog.goo.ne.jp/maedatakayuki_1943)

マイライブラリー:0533

(注)本稿は2021年5月11日から30日まで7回に分けて「ブログ・石油と中東」に掲載したレポートをまとめたものです。

2021.5.31
前田 高行

トンネルの先が見えてきた国際石油企業とサウジアラムコ:2021年1-3月期決算速報

スーパーメジャーと呼ばれる五大国際石油企業(ExxonMobil、Shell、BP、Total 及び Chevron)とサウジアラビア国営石油企業アラムコ社(Aramco)の1-3月期決算が相次いで発表された。ここでは売上高、利益及び売上高利益率について各社の業績を横並びで比較するとともに各社の四半期決算の推移を検証する。

決算の詳細は以下の各社のホームページを参照されたい。

ExxonMobil:

https://corporate.exxonmobil.com/News/Newsroom/News-releases/2021/0430_ExxonMobil-earns-2.7-billion-in-first-quarter-2021

Shell:

<https://www.shell.com/investors/results-and-reporting/quarterly-results/2021/q1-2021.html>

BP:

<https://www.bp.com/en/global/corporate/news-and-insights/press-releases/first-quarter-2021-results.html>

Total:

<https://www.total.com/media/news/press-releases/first-quarter-2021-results>

Chevron:

<https://www.chevron.com/stories/chevron-announces-first-quarter-2021-results>

Aramco:

<https://www.aramco.com/en/news-media/news/2021/aramco-announces-first-quarter-2021-results>

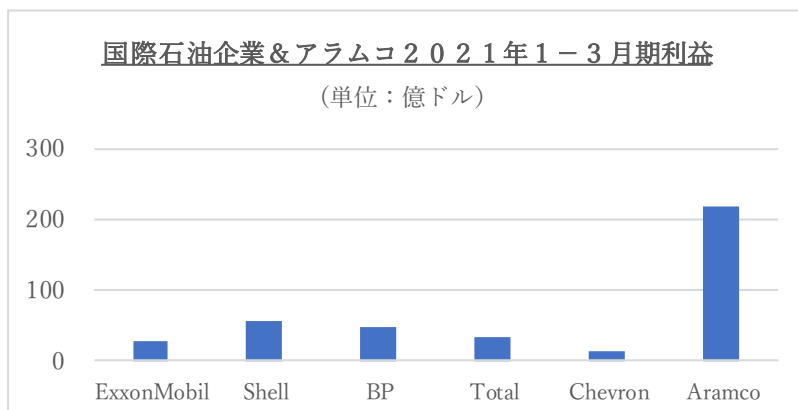
なお過去の四半期業績及び2010年から2020年までの通年の業績比較は下記レポートを参照されたい。

<http://mylibrary.maeda1.jp/SuperMajors.html>

1. 純利益

(全社が利益を計上、メジャーズ5社の合計額を上回るアラムコの利益！)

(1) 当期利益



国際石油企業(以下 IOC)5社の1-3月期はいずれも利益を計上している。後述するが昨年の四半期は各期とも5社のいずれかが損失を計上しており、今期は久方ぶりに全社がプラスの決算である。昨年初めから世界経済はコロナ禍により最悪の状態

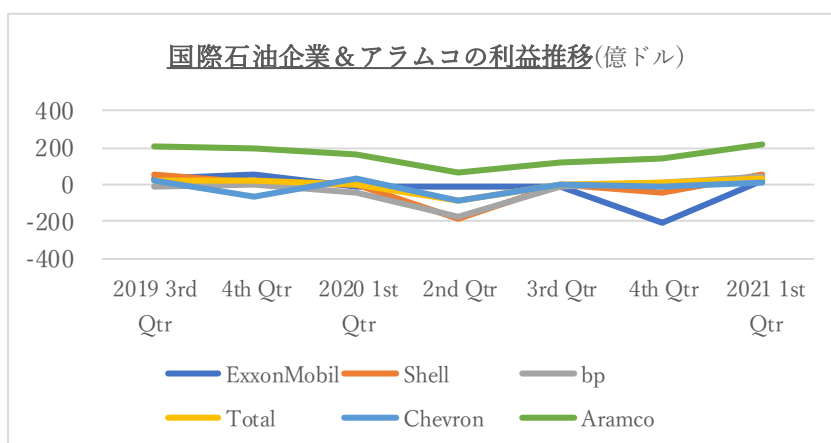
IOCs もその影響を免れなかったが、昨年末から景気回復傾向が見られ石油需要及び価格が上昇した結果、石油企業もトンネルの先が見えてきたようである。

5社の中で利益が最も多かったのは Shell の57億ドルである。Shell に次ぐのはbp47億ドル、Total33億ドル、ExxonMobil27億ドルであり、Chevronは最も少ない14億ドルでShellの4分の1にとどまっている。

これに対してAramcoの純利益は217億ドルに達し、IOC 各社を大幅に上回る利益を計上、その額は Shell の4倍、Chevron の16倍である。また Aramco1 社で IOC5社の利益合計額(178億ドル)を上回っている。古い歴史を有し、一企業としては世界最大の産油量を誇る Aramco は圧倒的な収益力を有しており、他の石油企業の追随を許さない。

(足並みを揃えて利益を確保した IOCs、断然他社を引き離すアラムコ！)

(2) 2019年下期以降今期までの利益の推移



ここではコロナ禍発生以前の2019年第3四半期から今期(2021年第1四半期)までの利益の推移を追ってみる。

IOC 各社はかつて高い収益を誇ってきた。例えば2010年代前半のExxonMobil は年間400億

ドル前後の利益を計上している。近年その収益力に陰りが見えてきたが、それでも2019年の第3

四半期ではExxonMobil、ShellなどIOC4社は利益を確保し、bpのみが7億ドルの赤字であった。

ところが2020年に入り全世界にコロナ禍が広がると、IOC各社の収益は一気に悪化し、第1四半期にはExxonMobil及びbpの2社が赤字となった。さらに第2四半期には5社すべてが赤字に転落、なかでも Shell、bp2社は170億ドル前後の巨額の赤字を余儀なくされた。続く第3、第4四半期も5社中3社が赤字状態になっている。因みに1-12月の年間決算ではExxonMobil、Shell、bp3社の赤字幅は200億ドル強、Total、Chevronも50億ドル以上の赤字であり、かつてなかった惨状であった¹。

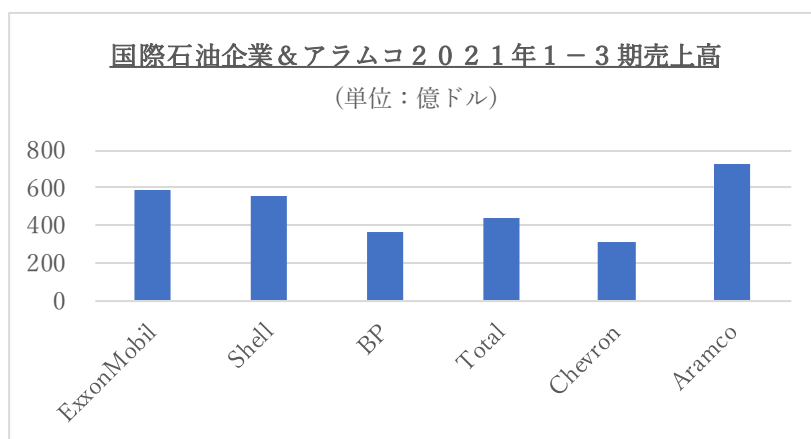
しかし今年に入り米国および中国に景気回復の兆しが見られ IOC 各社の業績も急回復、5社すべてが黒字に転換している。最も大きな黒字を計上したのは Shell の57億ドルであり、Chevron が14億ドルで最も少なかった。各社の黒字幅はかつての高収益時代には及ぶべくもないが、2019年下期の水準に戻っている。

この間アラムコは5社を大幅に上回る利益を確保しており、2019年第3四半期の利益は213億ドルであった。2020年はコロナ禍の影響で利益額は急落、第2四半期には約4分の1の66億ドルまで落ち込んだが、Shellが181億ドルの巨額の赤字を計上するなどIOC5社が赤字に陥ったことに比べればアラムコの傷は浅かったと言えよう。アラムコはその後、再び増益傾向となり、今期(2021年1-3月期)は217億ドルの利益を計上、コロナ禍以前の水準に戻っている。

2. 売上高

(アラムコは ExxonMobil の1.2倍、bpの2倍！)

(1) 当期売上高

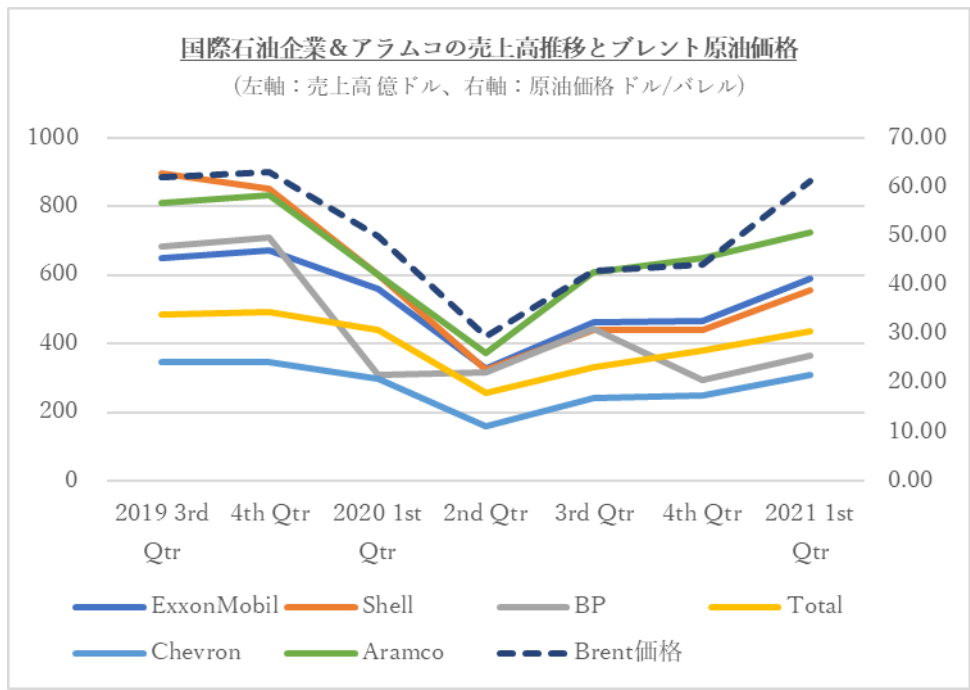


2020年1-3月期の売上高はアラムコが726億ドルと最も多い。IOC5社の中では ExxonMobil が最も多い591億ドルであり、これに次ぐのが Shell557億ドル、Total437億ドル、BP365億ドルであり、Chevron の売上高は最も少なく311億ドルにとどまっている。

アラムコの売上高を100とした場合、IOC各社はそれぞれExxonMobil82、Shell68、Total60、BP50、Chevron43であり、ExxonMobil、Shell の売上高はアラムコのほぼ8割、BP が2分の1であり、Chevron の売上高はアラムコの4割強である。利益面ではアラムコの利益が IOC5社の利益合計額よりも大きく、IOC5社で利益が最大の Shell もアラムコの4分の1に過ぎないことと比較すると(前項参照)、アラムコとIOC5社の売上格差は利益の格差ほど大きくない。

(ほぼ原油価格に連動した各社の売上高！)

(2)2019年下期以降今期までの売上高の推移



2019年第3四半期から2021年第1四半期に至る四半期ベースの売上高の推移を見ると、2019年第3四半期の売上高は895億ドルのShellを筆頭に、アラムコが812億ドルで続き、bp及びExxonMobilは600億ドル台、Total500億ドル弱でChevro

nは最も少ない348億ドルであった。

その後、2019年第4四半期から2020年第2四半期にかけて各社とも売上高が急激に減少した。2020年第2四半期はAramcoが372億ドルでShellを抜いてトップになり、ExxonMobil、Shell及びbpが320億ドル前後で競り合っているが、6社の売上高はいずれも2019年第3四半期の2分の1あるいはそれ以下である。

2020年第3四半期以後は売り上げが2期連続で上昇、2021年第1四半期の売上高は6社のうち4社が2019年第3四半期のほぼ9割まで回復している。但しShell及びbp2社のみは回復の速度が鈍い。

売上高の変動に大きな影響を与えるのが原油価格であるが、代表的な油種であるBrent原油の各四半期の平均価格を見ると以下の通りであった(価格はドル/バレル)。

62.00ドル('19年3rdQTR)→63.08ドル('19年4thQTR、前期比+1.7%)→50.06ドル('20年1stQTR、前期比▲20.6%)→29.55ドル('20年2ndQTR、前期比▲41.0%)→42.94ドル('20年3rdQTR、前期比+45.3%)→44.16ドル('19年4thQTR、前期比+2.8%)→61.12ドル('20年1stQTR、前期比+38.4%)

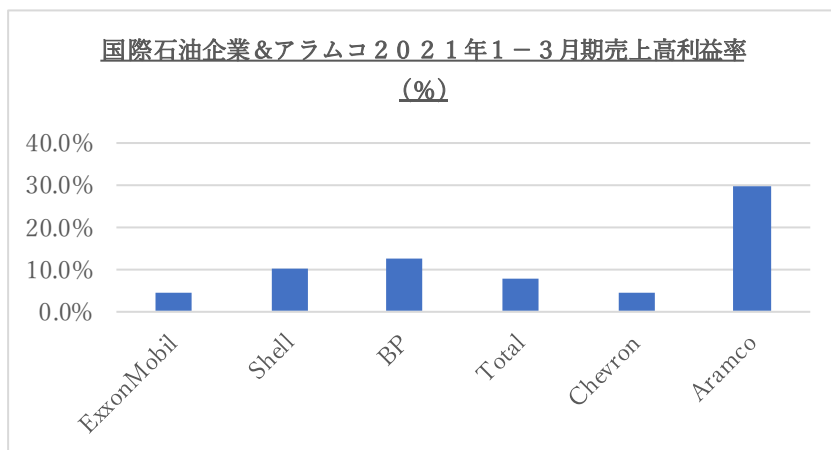
これに対して6社の対前期比売上高増減比率の平均は、+1.0%(4thQTR)→▲25.9%('20年1stQTR)→▲35.2%('20年2ndQTR)→+43.4%('20年3rdQTR)→▲1.3%('19年4thQTR)→+

21.6%('20年1stQTR)であった。両者を比較すると2019年第3四半期から翌年第3四半期までの1年間は原油価格との相関関係が極めて高いことがわかる。しかし2020年第4四半期と2021年第1四半期については、売上高の上昇率が原油価格のそれを下回っている。各社は価格上昇の追い風をつかみ切れなかったようである。

2. 売上高利益率

(29.9%、驚異の利益率を誇るアラムコ！)

(1) 当期売上高利益率

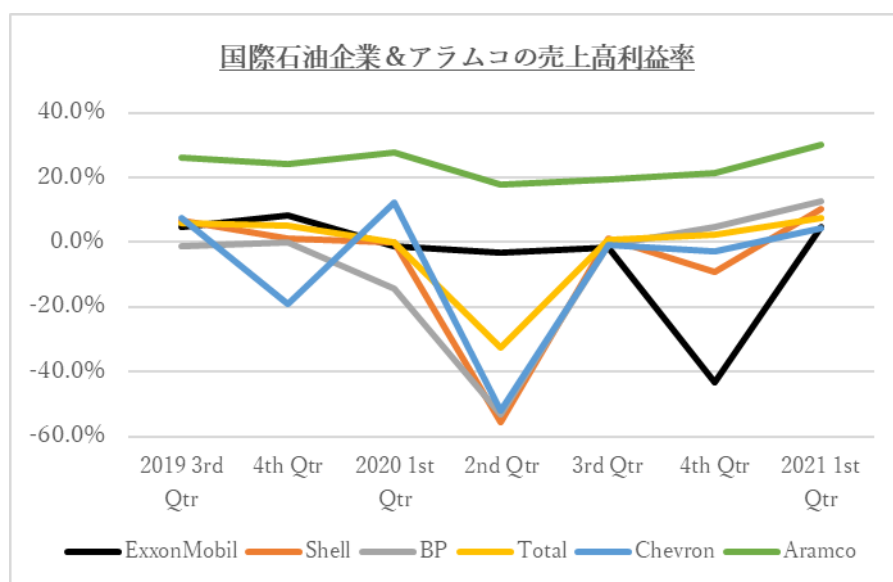


IOC5社の今期売上高利益率はbpが12.8%と最も高く、続いて Total が10.2%でありこの2社が利益率10%を超えている。他の3社はTotal 7.6%、ExxonMobil 4.6%であり、Chevron が4.4%で5社の中では最も低い。

これら5社に対してアラムコは29.9%と言う非常に高い利益率を誇っている。次項の四半期推移で触れる通り同社の利益率は常に5社を圧倒している。

(逆風強まる石油企業、IEAからも最後通牒！)

(2) 2019年下期以降今期までの売上高利益率の推移



2019年第3四半期から今期(2020年第1四半期)までのIOC5社及びアラムコの売上高利益率の推移を見ると、IOC5社は一昨年末から昨年末まで各社いずれも大きな変動(特にマイナス幅の大きな変動)を示している。

2019年第3四半期の売上高利益率は

Chevron の7.4%を筆頭に、Shell 6.6%、Total 5.8%、ExxonMobil 4.9%といずれもプラスの利益率で、bpのみが▲1.1%であったが、5社の格差はそれほど大きくはなかった。2019年第4四半期に Chevron の利益率は▲19.1%と大幅に下落した。さらに2020年第2四半期には全社が

マイナス決算となり、損失率も Shell、bp 及び Chevron は▲50%台を記録している。この間比較的
小幅な損失率にとどまっていた ExxonMobil も昨年第4四半期には▲43%の大幅な損失率を記録、
昨年1年間は IOC 各社いずれも厳しい決算を余儀なくされた。

一方、アラムコの2019年第3四半期の売上高利益率は26.2%であり、IOC5社を圧倒している。
アラムコはその後20%台の高い利益率を確保しており、昨年第2、第3四半期は一時的に利益
率が低下したが、それでも10%台後半であった。

2021年に入り各社とも業績が回復、第1四半期のIOC5社の売上高利益率は、bpの12.8%を
筆頭に Shell10.2%、Total7.6%ExxonMobil4.6%、Chevron4.4%と2019年第3四半期の水
準に戻っている(因みにアラムコの売上高利益率は29.9%)。

各社とも業績向上に必死に取り組んでいるがコロナ禍の影響がいつまで続くか不明である。また
最新の IEA レポートは2050年までの炭酸ガス排出量ネットゼロを目標とし、化石燃料供給プロジェ
クトへの投資を即時取りやめるよう提言している²。さらに Shell に対してはオランダの裁判所が203
0年までに排出量を2019年比で45%削減するよう命じており(Shellは控訴中³)、ExxonMobilの株
主総会では環境対策の強化を求める投資ファンドが推薦する取締役2名の選任を押し付けられる⁴
など石油企業を取り巻く環境は厳しさを増しており、業績の先行きは楽観を許さない。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-mail; maedat@r6.dion.ne.jp

¹ 詳細は「[サウジアラムコと五大国際石油企業の 2020 年業績比較](#)」参照。

² ‘Net Zero by 2050 A Roadmap for the Global Energy Sector’

<https://www.iea.org/reports/net-zero-by-2050>

³ ‘Shell response to Dutch court ruling in case brought by Milieudéfensie!’

<https://www.shell.com/media/news-and-media-releases/2021/shell-response-to-dutch-court-ruling-in-case-brought-by-milieudéfensie.html>

⁴ ‘ExxonMobil announces preliminary results in election of directors’

https://corporate.exxonmobil.com/News/Newsroom/News-releases/2021/0526_ExxonMobil-announces-preliminary-results-in-election-of-directors